

## 令和3年第14回教育委員会会議

### 1 日 時

令和3年10月18日(月)

開会 13時30分

閉会 14時12分

### 2 場 所

県庁行政庁舎 11階 1109会議室

### 3 出席者

徳田博教育長、新屋長二郎委員、新家久司委員、眞鍋知子委員、高野勝委員、  
浅蔵一華委員

### 4 説明のため出席した職員

飯田重則教育次長、杉中達夫教育次長、塩田憲司教育次長、松田豊久教育次長兼  
庶務課長、江尻祐子教育次長兼学校指導課長、岡橋勇侍教職員課長、清水茂生涯学  
習課長、山下幸則文化財課長、居村吉記保健体育課長

### 5 議案件名及び採決の結果

議案第32号 令和3年度石川県優秀教職員の決定について（原案可決）

議案第33号 教職員の人事について（原案可決）

### 6 報告事項

報告第1号 令和4年度石川県公立学校教員採用候補者等の選考結果について

報告第2号 令和3年度いしかわマスター教員の決定について

### 7 審議の概要

#### ・開会宣告

徳田教育長が開会を告げる。

#### ・会議の公開・非公開の決定

議案第32号、議案第33号及び報告第2号は人事に関する案件のため地方教  
育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき非公開とすることを、  
全会一致で決定。

#### ・質疑要旨

以下のとおり。

報告第1号 令和4年度石川県公立学校教員採用候補者等の選考結果について（岡橋教職員課長説明）

はじめに、「1. 候補者数」にある教諭及び養護教諭についてですが、受験者総数1,073人の中から、採用候補者として315人を選考いたしました。最終的な競争倍率は、昨年度より0.1ポイントの微減にとどまり、昨年度とほぼ同程度の3.4倍となりました。採用候補者315人の内訳は、小学校が140人、中学校及び高等学校が132人、特別支援学校が33人、養護教諭が10人となっております。中・高等学校の教科別の状況等については、次ページをご覧ください。

受験区分及び中・高等学校の教科別、特別支援学校の学部別等における、採用候補者の内訳や倍率の一覧でございます。表の中ほど、教科「工業」の欄にあるカッコは、今年度から新たに設けた「大学から推薦を受けた工業受験者を対象とした選考（区分V）」の人数を内数で示しており、石川県教育委員会が指定する県内大学から推薦を受けた受験者を対象として実施し、金沢工業大学から推薦を受けた2人を採用候補者として選考しました。表への記載はございませんが、採用候補者における男女の割合につきましては、候補者315人のうち、男性の割合が47.0%、女性の割合が53.0%となっております。昨年度とほぼ同程度であります。また、採用候補者に占める新卒者の割合につきましては、47.9%で、昨年度とほぼ同程度であり、8年連続4割超えとなっております。講師経験者の割合は45.1%で、昨年度より上がっていますが、過去5年間の平均並です。

資料1ページにお戻りください。ページ中ほどの、栄養教諭ですが、昨年より実施している、栄養教諭の一般選考につきましては、受験者12人の中から2人を、現職の学校栄養職員から任用替えを行い、栄養教諭の特別選考につきましては、受験者6人の中から2人を選考しました。

「2 結果発表等」につきましては、10月8日午後3時に、採用候補者の受験番号を県教委のホームページ等で公表するとともに、全受験者あてに結果を発送したところであります。

「3 今後の予定」につきましては、採用内定者が、4月から自信と熱意を持って教師生活をスタートできるように、採用前研修として、いしかわ師範塾によるウォームアップセミナーを12月から2月までに、学校参観や社会人に必要なマナーなどの5講座を実施することとしております。また、栄養教諭（特別選考）の合格者については、令和4年4月1日より学校栄養職員からの任用替えとなります。

**【質疑】**

（新屋委員）

受験倍率が低下傾向にあり、なかなか厳しい状況にあると思います。中高の倍率の低い教科について、今後もこういった傾向が続くとすると、難しいとは思いますが、こういった対策が考えられるでしょうか。

（岡橋教職員課長）

倍率の低い国語や工業といった教科についてですが、こういった状況を踏まえて、大学説明会等において、教員養成系の学部はもちろんですが、それ以外の学部にも教員の魅力のアピールを今後も進めていきたいと考えております。

(徳田教育長)

工業については、新たに大学推薦という方式を取り入れ、金沢工業大学さんから2名を推薦いただいて2名合格いたしましたので、来年以降もこういった対応をしていきたいと思っております。また、大学に対して、早め早めにきめ細かく状況をご説明して、特に倍率の低い教科についてはどんどん採用試験を受けていただくように、これからも地元大学としっかり連携しながらやっていきます。

(眞鍋委員)

別の視点からなのですが、石川県の試験の結果が出るのが、他県と比べて遅いのではないかということがございまして、例えば、富山県では石川県より結果が早いときいています。結果が出る時期について分かりましたら教えてください。

(岡橋教職員課長)

詳細は手元にございませませんが、全国的な傾向では、本県並みのところが十数県あります。本県より早いところは、8月あたりから合格発表が始まっている状況です。早くはありませんが、全国並みである状況です。

(眞鍋委員)

ありがとうございます。富山県と比べて発表が遅いという状況の場合、来年度から富山大学と金沢大学で共同の教員養成課程になりますので、もしかすると、受験の際に、そんなに遅くまで進路が決まらないのだったら石川県ではなく富山にしようなど、そういった影響もあるかもしれませんので、そういったこともお調べになった方がよいかと思えます。

(徳田教育長)

他の県は一次試験で絞り込んで面接しているのですが、石川県の場合は、筆記試験と面接試験と全員受けてもらっています。物理的な作業面で、短縮が出来ない状況もありますけれども、全国の状況はもう一度しっかり調べていきたいと思えます。

(徳田教育長)

以降の審議は非公開となるため、傍聴人の退席を促す。

議案第 32 号 令和 3 年度石川県優秀教職員の決定について

岡橋教職員課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

議案第 33 号 教職員の人事について

岡橋教職員課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

報告第 2 号 令和 3 年度いしかわマスター教員の決定について

岡橋教職員課長が説明した。

・ 閉会宣言

徳田教育長が閉会を告げる。